



聖家族 (ルカ 2:41-52)

神の望みがどこにあるかをよく考える家族

ご降誕の翌日が聖家族、とても珍しい巡りになりました。ご降誕の飾りのことを考えると、「主の公現はいつかなあ」と考えると思います。何と御公現も、神の母聖マリアの翌日なので、1月2日ということになります。さすがに、1月2日に馬小屋飾りを片付けるのは寂しいので、翌週「主の洗礼」まで飾りたいです。

これはついでになりますが、赴任したことがある教会の中で、「主の洗礼」まで馬小屋飾りを生かすために、洗礼者ヨハネがイエスに洗礼を授けている御像をオリジナルで作ってもらい、馬小屋飾りを背景に活かすようにした教会がありました。80万くらいしましたか。あれは今、どうなっているのでしょうか。

さて、今週の聖家族の主日を「イエスが絆になっている家族を目指そう」という形でまとめたいと思います。イエスが12歳になったときのエルサレム巡礼で、ヨセフとマリア、少年イエスの家族に最初の危機が訪れました。

ヨセフとマリアはエルサレム巡礼を終えて帰路に帰りましたが、イエスはそのままとどまったのです。初めて、両親が当然そう考えるだろうと思ったことと、イエスが当然だと思ったことが、食い違ったのでした。

両親の考えと子供の考えが食い違ったとき、家族に危機が訪れます。この危機はたいていの場合、両親の考えを子供が理解して回避されます。両親が下す判断は慎重に考えた結果が多く、子供が下す判断はそこまで考えていないことが多いからです。「いろいろ考え合わせると、両親の判断が正しい。」こうして家族の危機は去って行きます。

しかし、今回は違っていました。両親ヨセフとマリアは、イエスが出した結論に自分たちを委ねました。巡礼が終わったのだから当然故郷に帰るべきだと思っていましたが、「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」(2・49)イエスの言葉の意味が、分からなかったからです。

私は子育てについて聞かれると、決まって一つのことを伝えます。それは、「神様が子供に描いている時間割と、両親が子供に描いている時間割はしばしば違うことがあり、その場合神様の描く時間割に合わせるべきだ」ということです。

どういうことかと言うと、「いついつまでにはここまで辿り着かせたい。それなのにどうしてその年齢になってもたどり着けないのか。」ほとんどの両親が、このようなことを思い描いているでしょう。考えている時間割に到達してくれないとき、両親は子供に疑問を持ったり、悩んだり、怒りを覚えたりするのです。

果たして両親の描いている時間割だけがすべてなののでしょうか。も

し神様が、この子供に思い描いている時間割が別にあって、時がまだ来ていないのだとしたらどうでしょう？両親は神様に、「あなたの時間割は間違っている」と言うのでしょうか。むしろ「私たちは神様がこの子供に思い描いている時間割を信じて委ねます」と、信頼の心を呼び起こすべきではないでしょうか。

いつも、中田神父は子育て中の両親にこの言葉を贈っています。「子供がいないからそんなことが言えるのだ」と思うかも知れませんが、私の兄弟の一人は自閉症で、両親がもがき苦しみ、最後に神様に委ねることができるようになるまでのすべてを見てきたので、子育ての苦しみを少しは知っているつもりです。

さてヨセフとマリアの態度をもう一度追いかけてみましょう。ヨセフもマリアも大変心配し、どう理解すれば良いのかを探していました。少年イエスは、父なる神が考えておられることを、少年の言葉で言い表します。そこでようやく、父なる神の思いに、人は合わせるべきなのだと思います。その場ですべてを理解することはできなくても、「母はこれらのことをすべて心に納めていた」(2・51)のです。

私たちに当てはめましょう。聖家族は私たち家族のお手本です。私たちは何を見倣えば良いのでしょうか。それは、家族に危機が訪れたとき、「親の言うことを聞きなさい」とか、「親の言うことがなぜ聞けない？」と押し付けるのではなく、「この危機を、父なる神の思いがどこにあるか考えながら乗り越えよう」こんなふうに受けとめて欲しいのです。

それは両親だけではなく、子供達も、家族がピンチになっている。神様の願いは何かを考えながら、神様の喜ぶ方に向かおう」そう考えて欲しいです。親と子が、ともに「家族の危機を乗り越えるために、父である神様の願いがどこにあるか考えよう」そんな協力ができる親子になってほしいと思います。

家族の危機は、イエス・キリストを通して初めて、間違いのない乗り越え方が示されました。幼子イエスを迎えたばかりです。私たちの家族にも、神様の時間割が関わっています。神の望んでいる家族に成長できるように、聖家族の取り次ぎを願いましょう。

神の母聖マリア(ルカ 2:16-21)